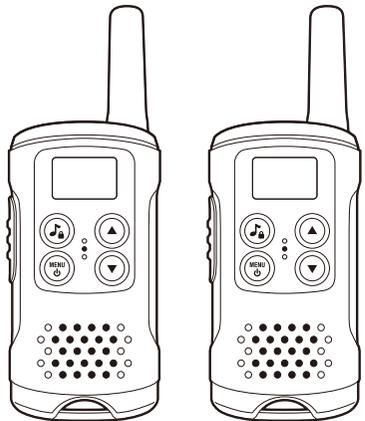


特定小電力トランシーバー

TRX-01



この度は弊社商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しく安全にお使いください。お読みになった後は大切に保管し、必要な時にお読みください。

ご注意

本機を人命救助などの目的で使用して、万一、故障・誤動作などが原因で人命が失われることがあっても、当社はその責任を負うものではありません。

安全上のご注意

必ずお守りください

ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次のように区分し、説明しています。

警告

この表示の注意事項を守らなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示します。

警告

本体について

- 分解・改造しない
機器が故障し、やけどや火災の原因になります。
- 幼児やペットなどに誤って触らせない
やけどや大けが、火災の原因になることがあります。
- 機器内部に金属物を入れたり、水をかけたり、ぬらしたりしない
火災や感電の原因となります。
- 乗り物を運転中は、本機を使用しない
自動車など運転者が使用するときには車を安全な場所に止めてからご使用ください。携帯型無線機を運転者が走行中に使用すると道路交通法違反で罰せられます。
- 湿気や湯気、ほこりの多い場所や、油や薬品がかかる恐れのある場所では使用しない
火災や感電の原因となることがあります。
- 次のような場所や条件で使用しない
本機からの電波が影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となります。
 - 病院内で使用が禁止された場所や医療機器近く(手術室、集中治療室、CCU※) ※CCU・・・冠動脈疾患監視病室
 - 自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近く
 - 心臓ペースメーカーの装着部位から 22 cm 以内の位置

電池について

- 電池が液漏れしたときは素手で液にさわらないでください。液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。
- 電池の液が目に入ったときは、こすらずに多量のきれいな水で洗い流し、ただちに医師の治療を受けてください。
- 火中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しないでください。
- 乾電池は充電しないでください。
- 指定された種類以外の電池は使用しないでください。
- ⊕と⊖の向きを正しく入れてください。
- 電池を金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
- 使用済みの電池は必ず本体から取り出してください。
- 長期間ご使用にならない時は、電池を取り外して保管してください。
- 新・旧および異なる種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- 液漏れした電池は使用しないでください。
- 外装フィルムのはがれた電池は使用しないでください。

注意

この表示の注意事項を守らなかった場合、人が傷害を負う可能性、または物的損害の発生が想定される内容を表示します。

注意

本体について

イヤホンなど肌に直接触れる部分に異常を感じたら使用を中止する

- ・そのまま使用すると、炎症やかぶれなどの原因になることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

- ・機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- ・夏季の車中や直射日光のあたるところ、暖房器具の近くでは特にご注意ください。

磁気の影響を受けやすいものを近づけない

- ・スピーカーの磁気の影響でキャッシュカードや定期券、時計などが正しく働かなくなることがあります。

音量を上げすぎない

- ・耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えます。

不安定な場所に置かない

- ・振動、衝撃の多い場所、ぐらついた台の上、傾いた所など不安定な場所に置くこと、落下の恐れがあり、故障の原因になります。

本体をベンジン、シンナーなどで拭かない

- ・変形、変色の原因になります。

機器どうし、他の無線機とともに至近距離で複数台使用しないでください

- ・お互いの影響により故障・誤動作・不具合の原因となります。

イヤホンを使用する時は周囲の状況に注意する

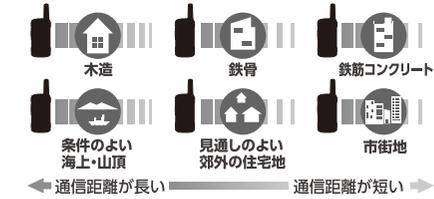
- ・周囲の音が聞こえにくい等、交通事故の原因となります。歩行中でも周囲の交通に十分注意してください。

電池について

- 火のそばや直射日光のあたる場所、炎天下の車中など、高温になる場所で使用、保管、放置しないでください。
- 電池を落下させたり、投げつけたり強い衝撃を与えないでください。
- 電池の外装フィルムをはがしたり、傷つけたりしないでください。
- 電池に表示されている注意事項もあわせてお読みください。
- 使用済みの乾電池は環境保全のため、不燃物としてお住まいの地域の所定の方法で処分するか、乾電池の回収を行なっている販売店にお持ちください。

使用上のご注意

- 本機は日本国内専用です。
- 電波の特性について
- 本機は次のような場合は電波が届きにくくなり、使用できない場合があります。
 - ・機器の間に何枚も壁がある場合
 - ・鉄筋や鉄骨を使用した建物で使用する場合
 - ・別の階や別の建物の間で使用する場合
 - ・次の障害物がある場合
 - ・コンクリートの壁・金属製の扉や雨戸
 - ・トタンなどの金属製の外壁材
 - ・金属箔が含まれる断熱材・金属製の家具など
- 鉄骨や鉄筋コンクリートの建物(マンションなど)では通信距離が短くなります。



■本機は総務省の技術基準に適合しております。証明マークが貼られている商品は、総務大臣の許可なしに改造した場合には法律により罰せられることがあります。また証明マークをはがしての使用や、表示内容を改ざんすることは法律で禁止されています。

■特定小電力の通信制限について
特定小電力トランシーバーの通信に関する制限事項について説明します。

●30秒制限(30秒以上は連続して送信できません)
連続送信は30秒/1回となります。送信時間終了の際に「ピーピー」と鳴り、送受信アイコンが点滅します。連続して送信する場合は、一旦PTTボタンから手を離して送受信アイコンが消えるのを確認してから、再度PTTボタンを押してください。

■付属のマイク付イヤホンについて
付属のマイク付イヤホン以外を接続すると、正常に機能しない、または故障の原因となる場合があります。

■本機は防水仕様ではありません。
雨中や水しぶきが降りかかる状況で使用しないでください。

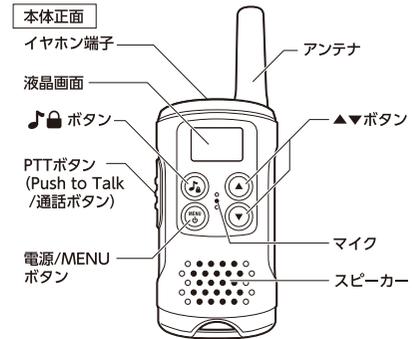
仕様

- 電 源：単四形アルカリ乾電池×3本(別売)
または充電式電池(ニッケル水素)×3本(別売)
- 電池持続時間：単四形アルカリ乾電池使用時 約40時間
充電式電池使用時 約30時間 (音量最小時)
- 送受信周波数：422MHz帯
- 入出力端子：φ2.5mm 3極超ミニジャック
- 送信出力：10mW
- チャンネル数：9ch
- 通信方式：単信方式
- 通信可能距離：200m(市街地)
- 外形寸法(約)：幅48×高さ132×奥行28(mm)
- 質 量：約74g(電池除く)
- 付 属 品：マイク付イヤホン×2個、ベルトクリップ×2個

※仕様及び外観・外装は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

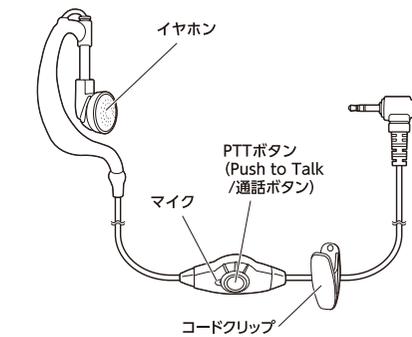
※製造には万全を期しておりますが、万一不具合のあった場合は良品と交換いたします。それ以外の責はご容赦ください。

各部の名称

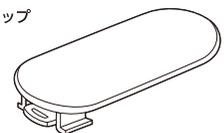


付属品

■マイク付イヤホン

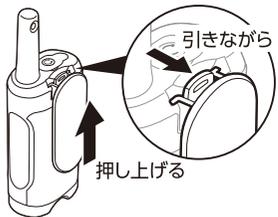


■ベルトクリップ

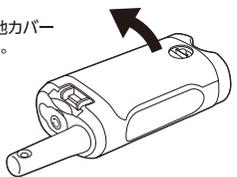


電池の入れ方

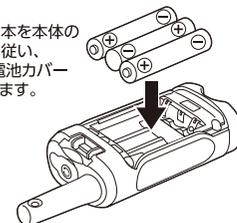
- ベルトクリップ上部のツマミを手前に引きながら、ベルトクリップを上方向に押し上げてフックを外します。



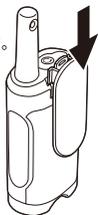
- 本体背面の電池カバーを取り外します。



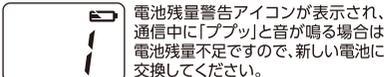
- 単四形乾電池3本を本体の⊕/⊖の表示に従い、正しくセットし電池カバーを元通りに閉じます。



- フックを上からスライドさせて元通りに取り付けます。



電池残量警告



電池残量警告アイコンが表示され、通信中に「ブツ」と音が鳴る場合は電池残量不足ですので、新しい電池に交換してください。

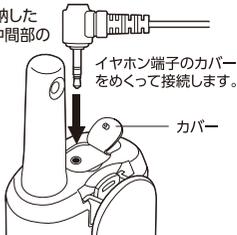
- 下記の場合も電池を交換してください。
 - 電源が入らない
 - 液晶表示が消える
 - 通信距離が短くなった
 - 音が出ない

乾電池を交換の際は、全て新しい乾電池に交換してください。

マイク付イヤホンについて

付属のマイク付イヤホンを接続して使用できます。

本体をポケットなどに収納した状態でもイヤホンコード中間部のPTTボタンとマイクで通信可能です。



基本操作

電源を入れる／切る

- 電源/MENUボタンを長押しします。



電源をONにすると「ピリッ」と鳴り、設定されているチャンネルが表示されます。電源をOFFにするとも「ピッ」と鳴り、表示が消えます。

音量を設定する

- 音量設定アイコンを押すと音量が上がり、PTTボタンを押すと設定完了します。また、チャンネルを合わせることでトランシーバーを増設して3台以上のグループでの通信も可能です。



音量設定アイコンと音量表示が点滅し、PTTボタンを押すと設定完了します。PTTボタンを押さない場合、数秒後に「ブツ」と鳴り、設定が完了します。
※音量範囲：最小1～最大7

チャンネルを設定する

(※購入時は2台共に「1」に設定されています。)

「1～9」のお好きなチャンネルを設定できます。また、チャンネルを合わせることでトランシーバーを増設して3台以上のグループでの通信も可能です。

- 電源が入った状態で電源/MENUボタンを1回押します。



チャンネル表示が点滅します。

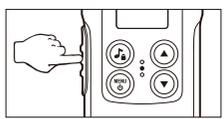
- 音量設定アイコンを押すと音量が上がり、PTTボタンを押すと設定完了します。PTTボタンを押さない場合、数秒後に「ブツ」と鳴り、設定が完了します。



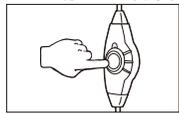
チャンネル表示が点滅します。

話す

- PTTボタンを押しながらマイクに向かって話します。



マイク付イヤホン使用時



※マイク付イヤホン使用時は本体のPTTボタンは使用できません

送信側



受信側



送信側、受信側ともに送受信アイコンが表示されます。

- 話し終わったらPTTボタンを離します。PTTボタンを離すと送信側、受信側ともに「ブルツ」と音が鳴ります。



待機状態に戻ります。

便利な機能と設定方法

プッシュ音を消して使用する

ボタン操作のプッシュ音を消して使用できます。

- 電源を切った状態で電源/MENUボタンを長押ししながら

電源/MENUボタンを長押しして電源を入れたら、プッシュ音が無音になります。

- 再度、プッシュ音が出るようにするには、通常通り

電源/MENUボタンを長押しして電源を入れたら、元に戻ります。

ロジャービーブ音(送信終了時の音)を消して使用する

送信の終了をお知らせする「ブルツ」というロジャービーブ音を消して使用できます。

- 電源を切った状態で電源/MENUボタンを長押ししながら

電源/MENUボタンを長押しして電源を入れたら、ロジャービーブ音が無音になります。

- 再度、ロジャービーブ音が出るようにするには、通常通り

電源/MENUボタンを長押しして電源を入れたら、元に戻ります。

音で呼び出す

- ロジャービーブ音を押すと「ピリリリ…」という音で

呼び出します。

送信側



受信側



送信側、受信側ともに送受信アイコンが表示されます。声での呼び出しに比べて、受信側が気付きやすくなります。

ボタンロック

誤操作を防ぐためボタンをロックできます。

- ロジャービーブ音を押すとPTTボタンと電源ボタン以外のボタンがロックされます。

再度ロジャービーブ音を押すと電源を切ると解除できます。



ボタンロック中はボタンロックアイコンが表示されます。

チャンネルスキャン機能

周囲で使用されているチャンネルを探せる機能です。

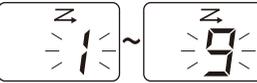
こんな時に
・グループで使用されているチャンネルが分からない場合
・混信防止のため、周囲で使用しているチャンネルを特定したい場合

- 電源/MENUボタンを2回押します。



スキャンモードアイコンが点滅します。

- ロジャービーブ音を押すとチャンネルスキャンを開始します。



1～9チャンネルを順にスキャンします。

- 周囲で使用されているチャンネルがあれば、そのチャンネルが液晶に2秒間表示されます。そのチャンネルに送信する場合はPTTボタンを押します。

2秒以上経過するか、そのチャンネルの使用が停止すると再度スキャンを始めます。



送受信アイコンが表示されます。

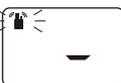
- 電源/MENUボタンを押すか、PTTボタンを押すとスキャンモードを終了します。

モニター機能

同じチャンネル内で電波の弱い信号を受信できる機能です。

こんな時に
・相手の電波が弱く、声が聞き取りづらい時など

- 電源/MENUボタンを3回押します。



送受信アイコンが点滅します。

- ロジャービーブ音を押すとモニターモードを開始します。



送受信アイコンが点滅しチャンネルが表示されます。

- 電源/MENUボタンを押すとモニターモードを終了します。

参考 各チャンネルの周波数帯

1	422.20000	6	422.26250
2	422.21250	7	422.27500
3	422.22500	8	422.28750
4	422.23750	9	422.30000
5	422.25000		

故障かな?と思ったら

音が出ない

- 電池が入っていますか?
- 電池が消耗していませんか?
- 電池が正しい向きで入れられていますか?
- 音量が最小になっていませんか?
- イヤホンが接続されたままになっていませんか?
- イヤホンが奥まで差し込まれていますか?

受信しない

- 同じチャンネルに合せていませんか?
- 相手との距離が離れすぎていませんか?
- 使用環境が電波の受信しにくい場所ではありませんか?

送信できない

- 信号を受信していませんか?
- 連続送信時間が30秒を超えていませんか?

ボタン操作ができない

- ボタンロックがされていますか?

お手入れ方法

汚れた時は柔らかい布で乾拭きしてください。汚れがひどい時は、中性洗剤を含ませた布で拭いてから乾拭きしてください。

※ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤、台所用洗剤や化学ぞうきんは使用しないでください。

〈無償修理・交換規定〉

- 取扱説明書及び本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無償修理または商品交換をさせていただきます。無償修理をご依頼になる場合には、商品に本書及びご購入日を証明するものを添えていただきお買い上げの販売店にお申しつけください。
- ご転居の場合や、ご贈答品等で本書に記入の販売店が無償修理をお受けになれない場合には、当社にご相談ください。
- 使用に伴う部品の消耗には保証の適用はされません。
- 保証期間内でも次の場合には原則として有償とさせていただきます。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定以外の使用電源(電圧、周波数など)による故障及び損傷
 - (ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
 - (ホ) 一般家庭以外(業務用など)に使用された場合の故障及び損傷
 - (ヘ) 本書のご添付がない場合
 - (ト) ご購入日を証明するものがない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
- 持込修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料等はお客様のご負担となります。また出張修理の依頼はお受けしておりません。取り付け、取り外し等の一切の工事費用はお客様のご負担となります。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
- 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

※お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無償修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただきます。

※生産が終了している商品の修理の依頼は、お受けできない場合がございます。予めご了承ください。

※記録媒体を搭載または使用する製品において、何らかの原因により機器が故障した場合、または修理、補修、交換などの際に、記録内容が消去・破壊される場合がございます。いかなる場合においても記録内容の補償については致しかねますのでご了承ください。